

戸木だより

津市立戸木小学校だより

2022. 4. 22 No.3

教室の窓から

6年生～こんな学級に、こんな学校に、最高学年として～

6年生の学年集会に声をかけてもらい参加しました。学年集会では、最初に担任から子どもたちが6年生として見通しを持って活動できるように年間の活動の説明をしました。その後担任一人一人が、自分の意見や考えを何でも言い合える学級になってほしいこと、学校の顔として下級生の人たちのことを考えて行動できる6年生になってほしいこと、みんな一人一人個性があって違うからこそそれを大切に、理解し合えるようになってほしいこと、子どもたちの頑張りを先生たちは全力で支えることなどの思いを伝えました。話をする機会をもらったので、子どもたちには今もこれからも自分を大切に、他の人も大切にして「元気で、やる気を持って、根気強く活躍してほしい」ことを伝えました。子どもたちの話を聴く凛とした姿や子どもたち一人一人が書いたこんな学級にしたいという作文からは、最高学年として学校の中心になって活動していこうとするやる気がとても伝わってきました。

作文から

- ・6年生らしく、切りかえができるようにしたいです。ほかにも下の学年の見本になれるようなクラスにしたいです。
- ・全学年の代表ぐらい、いいクラスにしていきたいです。他の学校とか、近所の方に「戸木小学校ってすごいなあ。」と言われたいです。
- ・がんばっていかないといけないなと思うことは、最高学年として下級生の手本になることです。廊下の歩き方や授業中話を聞く時の態度、良いことをしてもらったとき感謝の気持ちを伝えることです。

お知らせ

※23日の授業参観は、限られた時間・場所・人数の参観となりご不自由をおかけしますが、子どもたちの学習の様子をご参観ください。感染予防のため、校舎内での会話は控えていただき、廊下からの参観にご協力をお願いいたします。また、授業参観終了後は、次の参観の方と入れ替わっていただくため、速やかに移動をお願いいたします。

※久居地区民生児童委員協議会主任児童委員部会様より不織布のマスクをいただきました。ありがとうございました。

学校運営協議会

子どもたちの学習の様子を見ていただきました。

20日、第1回学校運営協議会を実施しました。昨年度から学校運営協議会では、学校と地域がともに子どもたちのより良い成長を見守っていくために「地域とともにある学校づくり」を目指し、意見を交流しています。委員は、香椎知明さん（戸木公民館長）曾我敏正さん（青少年育成会戸木小学校区部会会長）前田政宣さん（民生児童委員）新家涼子さん（学習支援ボランティア）村木啓真さん（自治会



連合会顧問) 上島均さん(元津市教育委員会委員) 馬場明生さん(久居中校区主任児童委員) 村井知枝美さん(戸木幼稚園長) 轟明弘さん(P T A会長) の皆様です。第1回学校運営協議会では、今年度の学校経営方針を承認していただき、保幼小連携・小中連携について、通学路や放課後の子どもたちの生活についてなど情報交流をしていただきました。今後も地域の方々と一緒に子どもたちの成長を見守っていきます

前期児童会役員・学級委員の認証式を行いました。

20日認証式を体育館で行いました。全校児童はZoomでその様子を教室で見ました。一人一人名前を呼ばれると、はっきりした声で返事をし、児童会の役員・委員長は一人一人抱負を言いました。児童会活動も学級活動も力を合わせて頑張っていってくださることを期待しています。

児童会会長	6年	〇〇	〇〇さん		
児童会副会長	6年	〇〇	〇〇さん	6年	〇〇 〇〇さん
児童会書記	5年	〇〇	〇〇さん	5年	〇〇 〇〇さん
園芸委員長	6年	〇〇	〇〇さん		
給食委員長	6年	〇〇	〇〇さん		
図書委員長	6年	〇〇	〇〇さん		
体育委員長	6年	〇〇	〇〇さん		
環境美化委員長	6年	〇〇	〇〇さん		
放送委員長	6年	〇〇	〇〇さん		
広報委員長	6年	〇〇	〇〇さん		
保健委員長	6年	〇〇	〇〇さん		



学級委員	1組	2組	3組
3年生	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん	
4年生	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん	
5年生	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん	
6年生	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん	〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん

徒然なるままに ～素直な質問にドキッ～

1年生が体育館に移動をする際「行ってらっしゃい！」と手を振っていた時に、「行ってきます！」というかわいい返事と一緒に「年ととる？」と聞かれました。「ととるよ。」と答えながらドキッとしました。そういえば昨年度3年生の先生から「校長先生、教頭先生、昔の遊びや生活について話をしてください。」と言われたことを思い出しました。子どもたちにとっては、おばあさんの年齢なのだと改めて思いました。気持ちの上ではまだまだ若くいたいと思う今日この頃です。